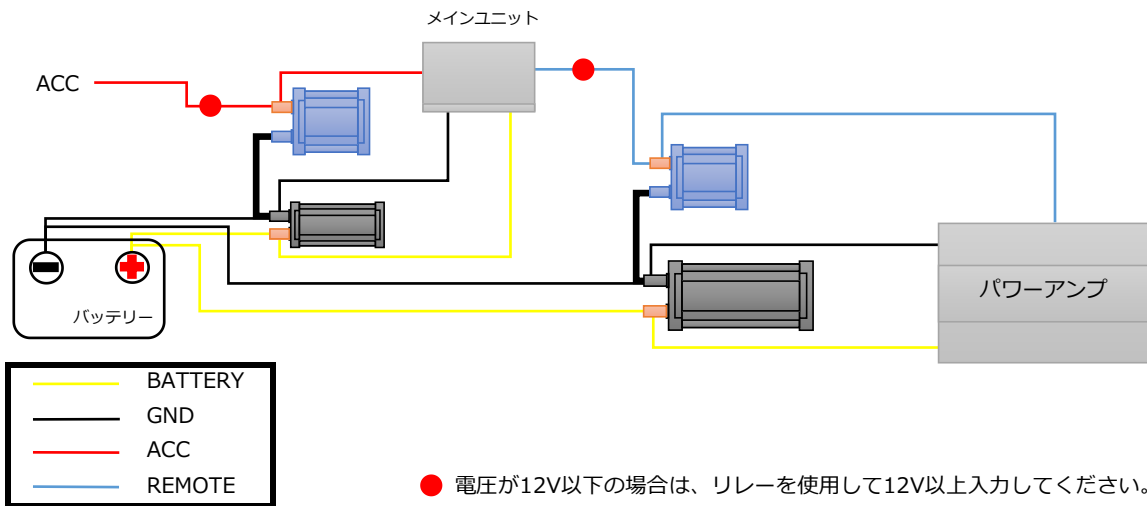
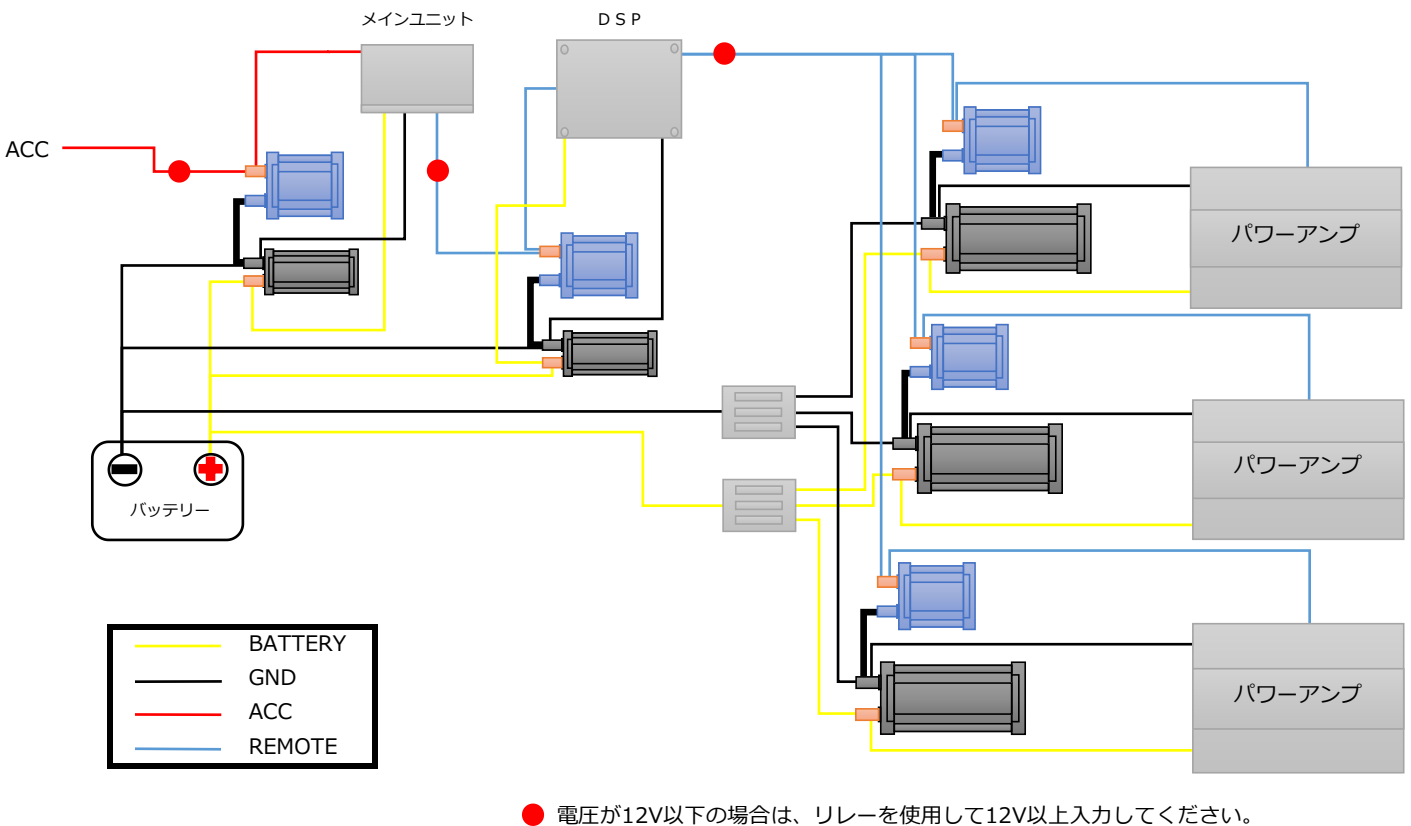


大切なのは性能を発揮させる接続ができていること。

接続例：1 【メインユニット+外部パワーアンプ】



接続例：2 【メインユニット+DSP(デジタル・シグナル・プロセッサ) +外部パワーアンプ】



feelの能力を引き出すために…。

- feelシリーズから機材までは、できるだけ最短距離で接続してください。
 - feelキャパシタとジャンクションスタビライザーを繋ぐマイナス線の太さは**8~10ゲージ**を推奨します。
 - ACCおよびREMOTE線の太さは**12~14ゲージ**を推奨します。
 - ジャンクションスタビライザーを取り付けする機材の入力電圧が12V以下の場合、リレーを使用して12V以上入力してください。
 - ジャンクションスタビライザーのプラス側の配線は**INとOUTの2本が端子部分で重なるように接続**することで、より効果が高くなります。
 - feelシリーズより配線を分配すると、エージングに時間が掛かり、効果が著しく低下する場合がございます。
- ※システムにより接続方法が異なる場合がございます。ご不明な点は、メールにてお問い合わせください。
※上記接続方法は全てのお車に対応できる保証はございませんので、自己責任のもとお取り付けください。